軽井沢町における アライグマ・ハクビシン等 の現状と対策

NPO法人生物多様性研究所あーすわーむ

福江　佑子

2023. 5.13

アライグマ、ハクビシン、ミンクは外来種（外来生物）

※アライグマとミンクは特定外来生物なので、輸入、飼育、販売、移動などに規制がかかっている。特定外来生物を放すことも違法。

特定外来生物被害防止法に則って、
軽井沢町に野生化している外来哺乳類である

アライグマ
ハクビシン
アメリカミンク

の人間生活、生態系等への被害防除や啓発等の対策を行う。

軽井沢町の対策の取組

・アライグマ、ミンクの生息情報の収集

（ハクビシンはどこにでもいるため収集はなし）

・アライグマ、ハクビシン、ミンクの捕獲

・捕獲個体の殺処分、解剖、個体情報の把握、寄生虫検査、年齢査定

（体の計測、性別の確認、成熟状態、妊娠の有無等の蓄積）

・3種に関して被害や目撃情報（アライグマおよびミンク）があった場合の対応 （加害動物の特定のための痕跡調査、カメラの設置、屋内に糞便があった場合の寄生虫検査等）

アライグマの特徴

- 北アメリカ原産
- 顔の中央（眉間から鼻）が黒い、尻尾に横縞がある。
  体は全体的に灰色（茶色の個体もいる）、長い5本指
  体重は4～10kgで体長50～60cm程度
- 雑食性
- 樹上での活動も得意
- なわばり性はない　　→　　密度集中も可能
- 一夫多妻的な繁殖システム
- １度失敗しても２度目の妊娠が可能

- 北アメリカ原産
- 雑食性
- 樹上での活動も得意
- なわばり性はない　→
- 一夫多妻的な繁殖システム
- １度失敗しても２度目の妊娠が可能

↓

同じような生態の在来種よりも増えやすい！

↓

在来種を競争排除

ハクビシンの特徴

- インドネシア・中国南部・東南アジア原産
- 顔の中央が白い・手足は短く尻尾は長い、
  体は黄茶色で手足や尻尾の先端は黒色、指は5本指で
  丸い足跡がつく、体重 2～4kg、体長 50cm程
- 雑食性、木登りが得意（電線や雨樋も利用）
- 出産時期は明確でなく情報が不足
- 一夫多妻的な繁殖システム
- 1度に2～4頭を出産
- １度失敗しても２度目の妊娠が可能
- 冬に活動は低下

アメリカミンクの特徴

特定外来生物

- 全体に黒色の細長い体型、手足は短い、体重は0.5～2kg弱
  体長20～30cm程
- 肉食性が強い（魚、甲殻類、小型哺乳類）
- 一夫多妻
- 性的二型があり、オスが大きく、メスが小さい
- 泳ぐのに適した体
- 水辺に生息
- 20C初　毛皮をとるために膨大な
  数を放獣→世界各国に分布

アライグマやハクビシン（ミンク）が引き起こす問題

■生態系の破壊

捕食、競争などによる在来種の駆逐

■人間生活への被害

別荘・廃屋が多い→侵入による家屋の損傷、糞尿被害が大きい

農作物被害、ペットの捕食

■人獣共通感染症

狂犬病、アライグマ回虫症など

軽井沢での生態系への被害

在来種への被害例

天井裏に残されていたタヌキの仔の毛

テンが食べられた跡

アライグマやハクビシンの侵入経路

弱いところを破壊（アライグマ）

8/25/2015 15:18

外来種による人獣共通感染症の問題

アライグマ回虫症

視神経や脳神経に入り、障害を及ぼす

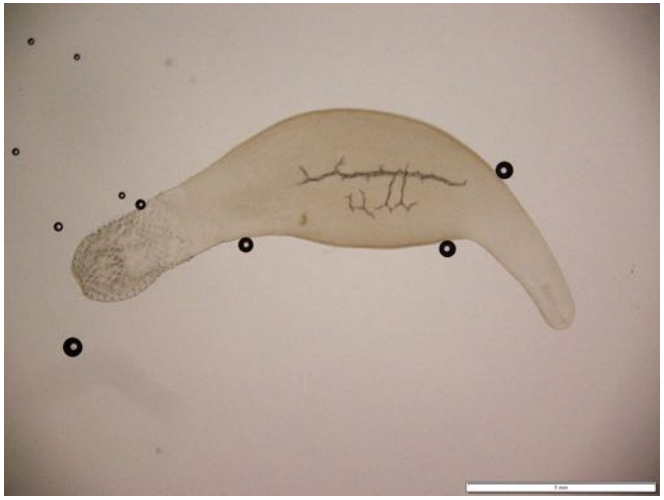
アメリカでは死亡例あり

アライグマ回虫の幼虫

動物園など複数の施設で確認

軽井沢町内では、まだ確認されていない

軽井沢で検出された寄生虫



アライグマから検出された寄生蠕虫（鉤頭虫Sphaerirostis属）
（2021.11.4捕獲個体）

2012.8.9.に天井裏で採取した糞の中にあった回虫卵

家屋侵入する在来の野生動物

（天井裏・壁の中など）

・ムササビ
・ノネズミ（アカネズミ、ヒメネズミ）
・テン

たまに
・ヤマネ（天然記念物）
・ウサギコウモリ（絶滅危惧種）
・キクガシラコウモリ（絶滅危惧種）
・アオダイショウ　　など

複数の種類の動物が入ることは多い

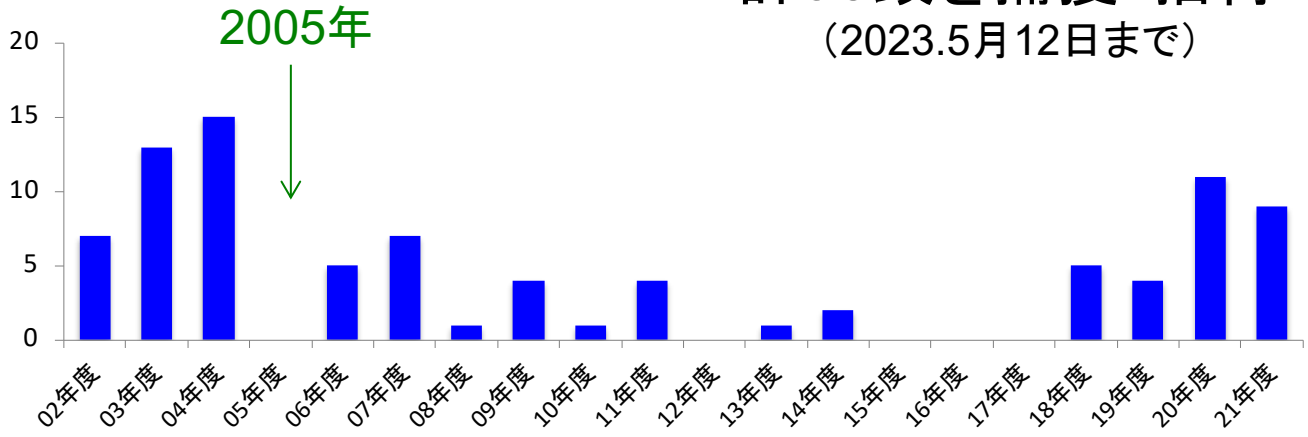
Bushnell
Camera Name 35°F1°C
01-31-2016 14:47:46

BUSHNELL
5.02.2010 19:07:48

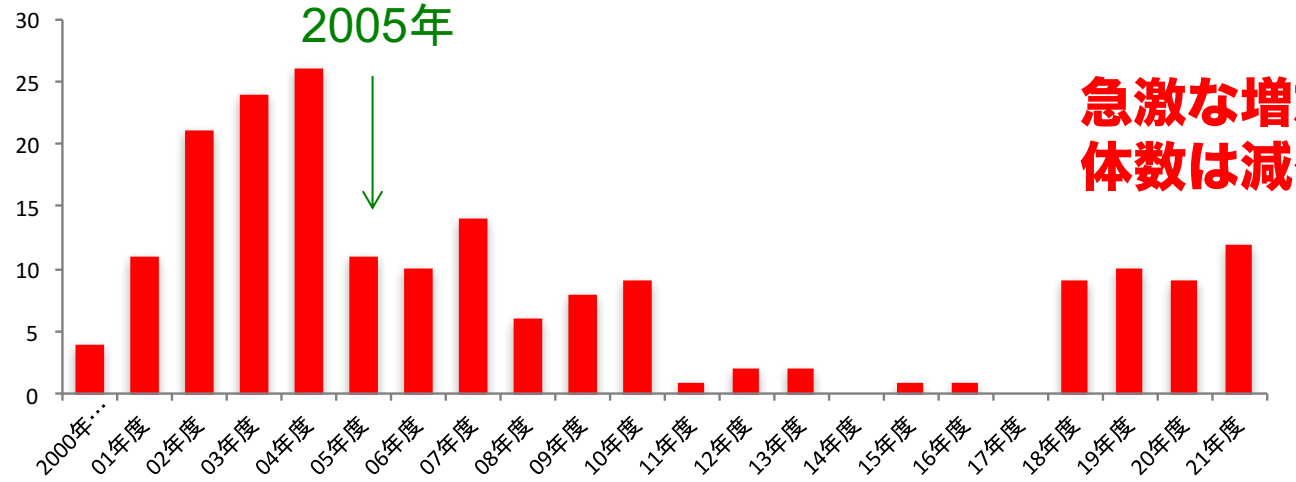
PRIMOS
073F
08-04-2011 12:19:17
TRUTHCAM60

計93頭を捕獲・拾得

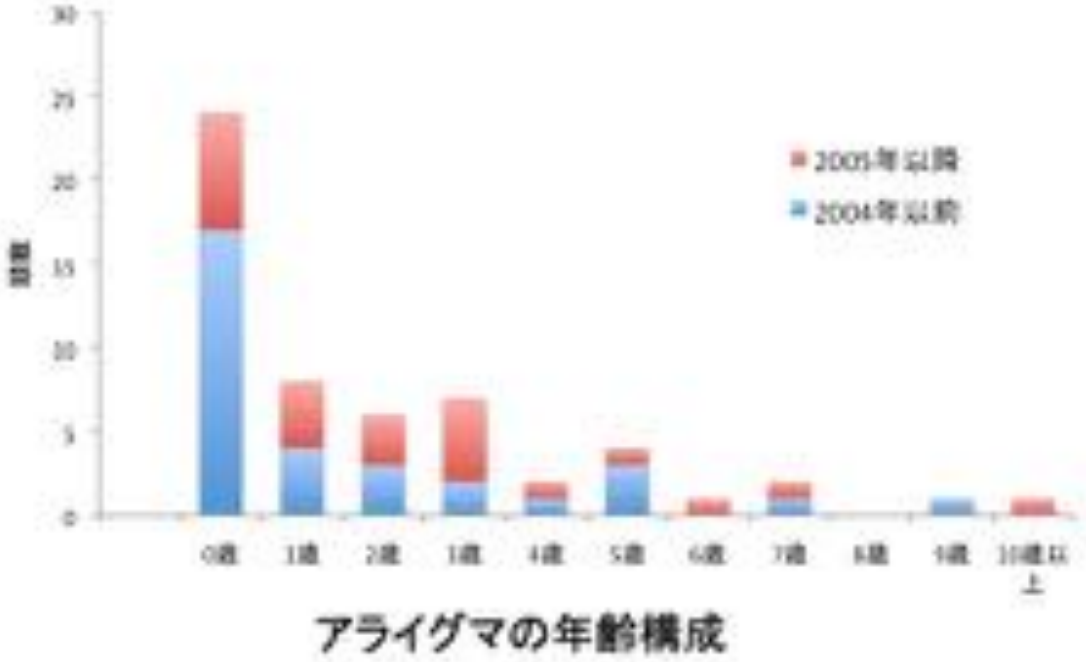
（2023.5月12日まで）



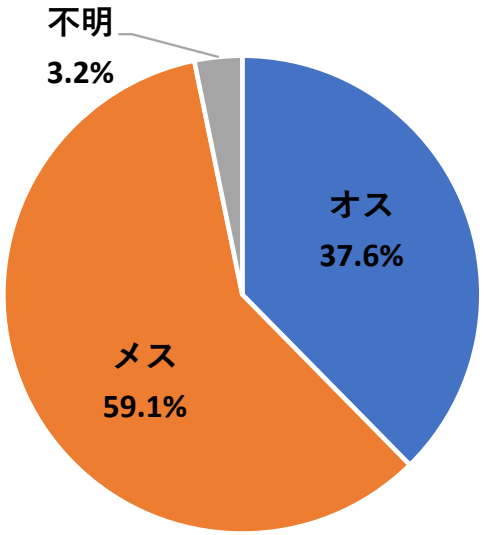
早期対策



急激な増加を食い止め、一旦、個体数は減少したが、再度の増加か



アライグマの年齢構成



捕獲されたアライグマの性比
（n=93）

表. アライグマの齢構成の他地域との比較

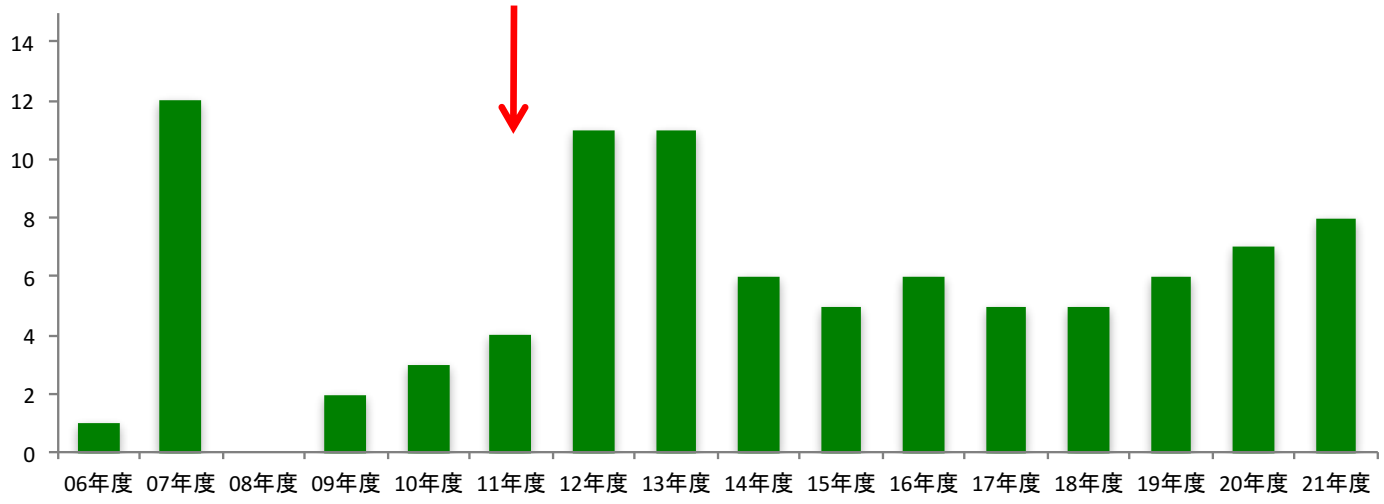
	軽井沢	北海道（Asano,2003）		神奈川県
		恵庭市	馬追・野幌	（加藤・羽山、2006）
当歳	42.9（30.4）%	41%	34%	メス 37.3% オス 51.7%
1歳	14.3（17.4）%	27%	34%	メス 27.5% オス 22.4%
2歳以上	42.8%（52.2%）	32%	32%	メス 33.3% オス 20.7%

（ ）は罠で捕獲された場合の齢構成、北海道と神奈川は罠での捕獲の場合の齢構成

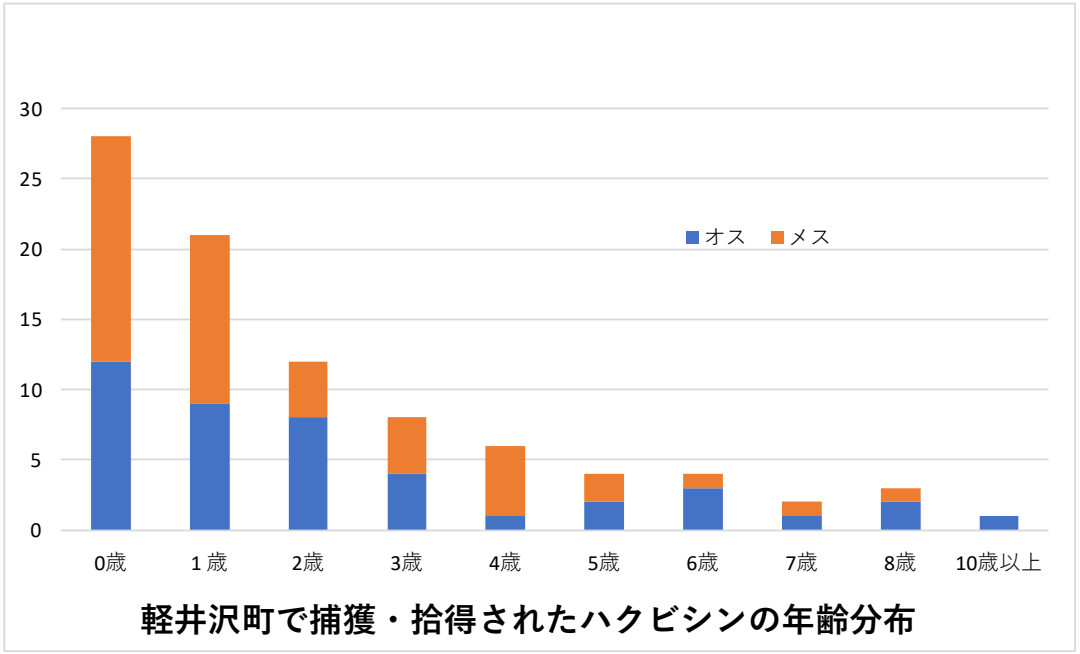
表. アライグマの齢別の妊娠率と胎仔数

年齢	n	妊娠 有	妊娠率	胎仔数 平均±S.D.	最小	最大
当歳	8	0	0.0%			
1歳	7	7	100.0%	3.6±1.4	2	6
2歳以上	15	13	86.7%	3.5±0.8	3	5
				3.6±1.1 (n=20)	2	6

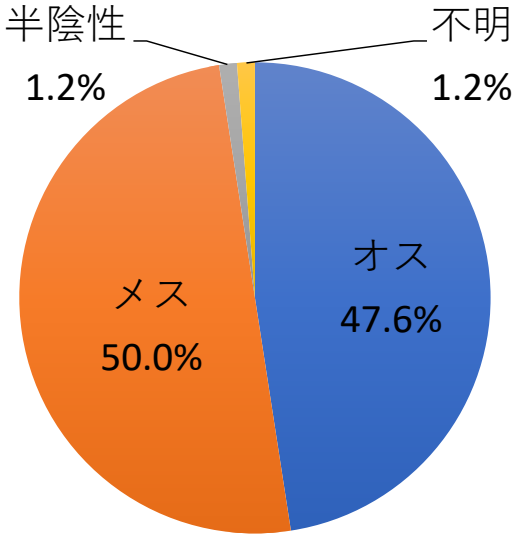
ハクビシンの捕獲開始



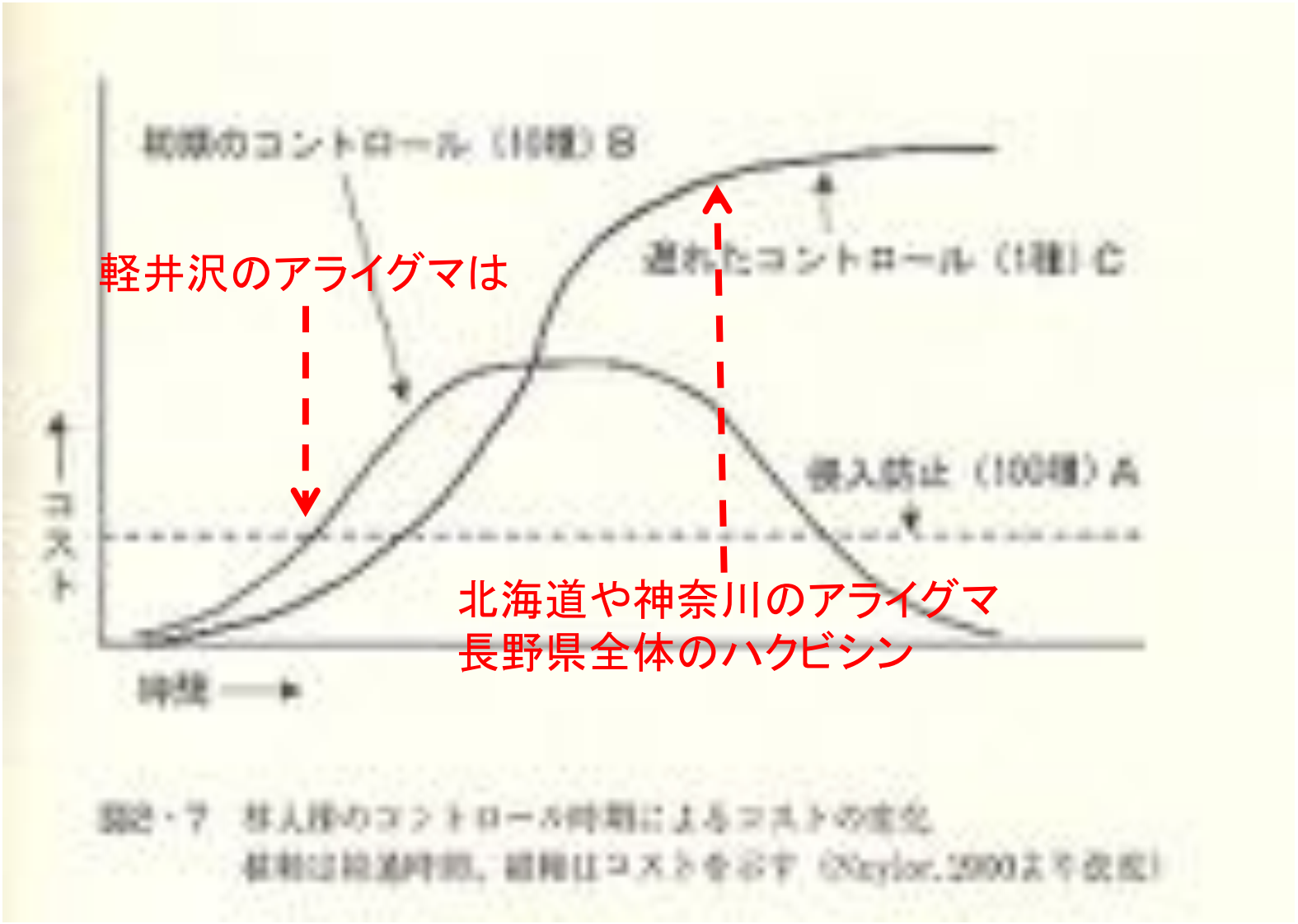
ハクビシンの捕獲数の推移



軽井沢町で捕獲・拾得されたハクビシンの年齢分布



捕獲されたハクビシンの性比
（（2011-2022）n=82


軽井沢のアライグマは
北海道や神奈川のアライグマ
長野県全体のハクビシン

アライグマ･ハクビシンの被害防除

被害対策のプロセス

（「野生鳥獣被害防止マニュアル」農林水産省生産局を改変）

加害動物の特定

↓

加害動物の特徴
・生態
・被害形態など

↓

侵入防止
・電気柵などの設置
・侵入口をつくらない

農地や人家に寄せない
・廃棄物（果実や野菜ゴミ）の管理
・ねぐらとなる寺社、廃屋や別荘の管理

捕獲
・加害個体の捕獲
（錯誤捕獲を減らす）

被害の軽減

重要なポイント

農地や人家に寄せない

・廃棄物（果実や野菜等）の管理
・ゴミの管理
・ねぐらとなる寺社、廃屋や別荘の管理

侵入防止

・電気柵などの設置
効果的な電気柵の使用、効果的な張り方に注意

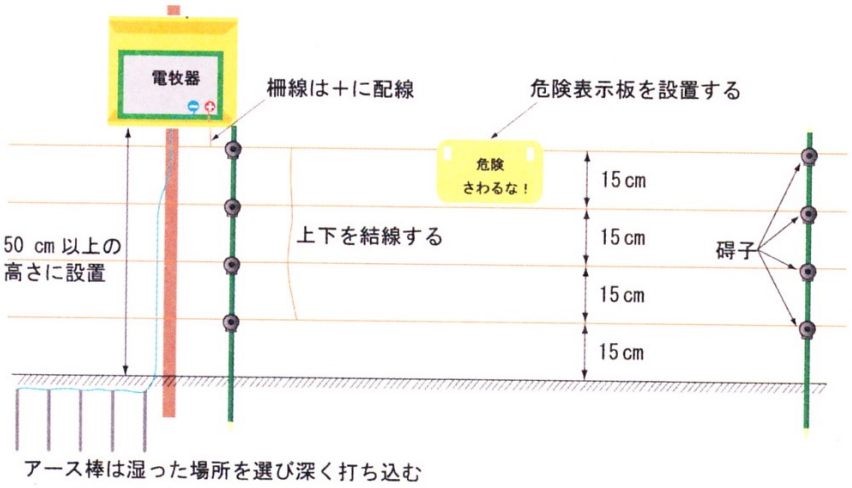


図2．2　ハクビシン用電気柵（電線型で４段）の設置方法

４段の電気柵
（h=5, 15, 25, 35cm）

「野生鳥獣被害防止マニュアル」から転載

・空き別荘、利用頻度の少ない別荘は快適な住み家を提供
・農作物被害対策をしない、効果的でない柵は栄養豊富で取りやすい餌を提供

↑

増やさない環境づくりが重要

予防（やっていただきたいこと）

自分の家屋をチェックし、入れる隙間をなくす
- ・通気口は細かい目のものを使用
- ・キツツキの穴、ムササビの穴も要注意！

家に鍵をかけるのと同じように、自分の畑も侵入防止を